

2017年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ
第7戦 埼玉幸手工業団地クリテリウム 大会要項

(ver.20171117)

- 主催 日本学生自転車競技連盟 (一社) 埼玉県自転車競技連盟 / 主管 (一社) 埼玉県自転車競技連盟
後援 幸手市 幸手市教育委員会(スポーツ振興課) (公財) 埼玉県体育協会 (公財) 日本自転車競技連盟
日時 平成 29 年 12 月 10 日 (日)
競技開始時間 クラス3 (A組) 12:50 (B組) 13:10 (C組) 13:30
クラス2 (A組) 13:50 (B組) 14:15
クラス1 14:40
女子は第1回埼玉県幸手工業団地クリテリウム大会(女子カテゴリ)と合同で行いますので、(一社)埼玉県自転車競技連盟 ホームページ <http://www2.saitama-cf.com/wp-content/uploads/2017/10/2017> をご確認ください。
- 場所 埼玉県幸手市上吉羽堤外 2100 幸手工業団地内 周回コース 1 周 約 2.0km (小雨決行、降雪中止)
- 大会主旨 本大会は、当該年度・日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した学生選手によるクリテリウムの優勝者を決め、翌年度選手権ロード大会出場資格者を認定して学生自転車競技者の競技レベル向上に寄与すること、ならびに地元自転車競技者との交流親交をはかり、サイクルスポーツの発展に寄与する事を目的とする。
- 競技種目 クリテリウム クラス3 10.0km (5周) クラス2 14.0km (7周) クラス1 20.0km (10周)
なお、距離(周回数)については当日の試合の進捗状況により、変更する場合がありますのでご注意ください。
- 参加資格 当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手とする。下記「参加申込」手順により、各カテゴリ 40~50 名程度(A・B組の場合は合計 100 名まで)が参加できる。
- 参加申込 参加を希望する選手(男子選手のみ)は、学校単位で所定の様式にて **11 月 28 日 (火)** までに電子メールで本連盟事務局まで申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス (entry@jicf.info) への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくは FAX にて事務局に期限内に送付する事。申込書式は JICF ウェブサイトより入手できる。参加費は 1 名につき 4,000 円とし、参加料の送金は銀行口座振込とする。送金名義人について、振込先に大会コード「**1210**」と、学校名を分かるように記入すること。
振込口座：長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687444 口座名：日本学生自転車競技連盟
支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。正当な理由なき欠場者には、参加料と同額のペナルティーを課す。
女子選手については、(一社)埼玉県自転車競技連盟のホームページでの申込要項に従い、各自直接申し込むこと。
尚、女子の参加費については、(一社)埼玉県自転車競技連盟では 1 名につき 4,500 円であるため、本連盟の定めた参加費との差額を返還する。返還方法については、本連盟事務局に確認してください。
コースのキャパシティに制限があるため申込者数が参加予定人員を超えた場合、本連盟にて加盟校毎の参加人員上限数を調整し、各校に通知する。参加人員の上限数は、原則として参加申込のあった加盟校の登録競技者数に比例して配分する。
- 選手受付 1. 男子は下記掲載の学連選手専用駐車場にて受付を行う。10 時 30 分から 11 時 30 分の間にライセンスを提示してゼッケンを受け取ること。なお、周辺はレース中交通規制が行われているので、時間に余裕をもって到着すること。
2. 女子の受付については(一社)埼玉県自転車競技連盟主催の第1回埼玉県幸手工業団地クリテリウム大会と同じ場所・時間で行う。場所：本部受付デスク 時間：8 時 20 分から 8 時 40 分まで
3. 選手は、競技開始 15 分前までにスタート・チェックシートに出走サインを自署すること。出走サインはスタート/フィニッシュ地点周辺で行う。
- 賞典 上位 1 位から 8 位までの者に賞状を授与する。
表彰式 上位 3 位以内を対象とする。また、クラス 3 の出走者上位 5 % 以内の者(小数点以下切上げ・完走しなかった者を除く)は、クラス 2 に昇格する。クラス 3 の各組について、欠場者が出て出走者数が異なり 5 % の人数に差が出た場合は組間の出走者を調整し、移動を行う場合がある。しかし、出走者数の調整ができなかった場合、各組の昇格者は同一とする(組間の均衡を図るため)。**また、クラス 2 の各組上位 1 名はクラス 1 に昇格するものとする。**
- 事故措置 1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。
- 競技規則 当該年度 JCF 競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。
事務局 日本学生自転車競技連盟 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 4 階 FAX: 03-3481-2369
E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <http://jicf.info> 携帯電話 080-4176-2369

2017年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ
第7戦 埼玉幸手工業団地クリテリウム 特別規則

第 1 条 (競技)

1. ロードレース方式とし、最終ゴール着順にて順位を決定する。周回コースでの競走とする。

2. スタートラインにおいてピストルの合図により正式スタートとする。
3. 飲食物の補給は認めない。
4. 代車・代輪の交換は、認められる事故の場合に指定されたピットにおいてのみ認められる。
5. ピット監察員によって確認された認められる事故の場合、最後の2周を除き1週のニュートラリゼーションが与えられる。
6. 工業団地内で試合当日に稼働している工場からトラックの出入りが発生した時は、ニュートラリゼーションをかけますのでご注意ください。

第2条 (失格・棄権)

1. 原則として、先頭より30秒遅れた選手は失格とする。
2. 競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第3条 (ゴミ捨て等について)

ボトル、食料の残り・包装等、あらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、3000円のペナルティを科す。

第4条 (その他)

1. 学連登記のジュニア選手のギア比の制限は行わない。
2. 公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープは必須とする。
3. RCSポイント総合順位のリーダーは、リーダーズジャージを着用してスタートしなければならない。

第5条 (誓約書)

参加申し込みの際し、以下を熟読し、申込みと同時に「内容に同意した事」とみなす。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟

会長 村岡 功 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9)準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

◎ コース図及び一般用駐車場などの案内は下記「埼玉県自転車競技連盟 HP」を参照のこと。
<http://www2.saitama-cf.com/wp-content/uploads/2017/10/2017.pdf>

第1回埼玉幸手工業団地クリテリウム大会での諸注意 (学連の大会に共通する部分の抜粋)

- 競技用コースは8:30~15:00で使用許可を取っていますが、前記時間外及び競技用コース以外は一般公道です。したがって、駐車場からコースへの移動およびする場合は、道路交通法(一旦停止、左側縦列一列走行、2段階右折、特にスピー

ドなど)の厳守は基より、他の車両、通行人への安全に十分注意し走行してください。

※工業団地内を大会日以外でのコースの下見や試走は禁止です。(工業団地内レース使用許可の条件です)

- 駐車場および会場での事故・盗難等は当連盟では一切責任持ちません。
- 駐車・専用駐車場は添付駐車場のみ可能です。陸上競技場・野球場の駐車場は当日少年サッカー大会(小学生)で使用しますので、自転車競技参加者及び関係者(観戦者含む)使用できませんのでマナーをお守りください。
- 公園内でのテント等の設営および自転車での走行は一般来園者に迷惑となりますので禁止です。違反者は駐車場および競技より排除します。
- 競技中の負傷疾病に対しては主催者側で加入する傷害保険内の補償と現地で行う応急処置のみとし、その他は各自の責任において行うこと。また、当日は必ず健康保険証を持参すること。
- 参加者は、各自で出したごみは必ず持ち帰ってください。
- 工業団地内は火気厳禁になっておりますので禁煙です。ご注意ください。
- 参加者は、自転車の整備、タイヤ装着確認等は責任をもって充分におこなったうえで参加してください。

観戦

- 本大会の観戦はすべて歩道上でお願いします、歩道が無い場所は観戦禁止とします。
- 稼働工場周辺は大型トラックの出入口があり危険ですので観戦を禁止します。
- 本大会は会場周辺の住民や工業団地内企業の通勤に使用されている一般公道を利用して開催しております。
- 歩道は道路規制の対象外です、歩道通行の邪魔にならぬよう特に気を付けて観戦ください。
- コース内にはトイレの準備がありませんので、公園のトイレをご利用ください。
- コース内の喫煙は全面禁止です。
- 本会場内はもとより、駐車場(工業団地内企業の従業員駐車場をお借りしています)に於いてもゴミは必ずお持ち帰りください。(マナーをお守りください)

学連選手専用駐車場 及び 競技役員用駐車場案内図

- 学連選手専用駐車場(約30台分)はコース外にあるため、埼玉県車連の試合中でも入庫が可能です。周辺は交通規制されていますので十分注意してご利用ください。
- 学連選手専用駐車場(約30台分)が満車の場合、埼玉県自転車競技連盟HPに掲載の一般用の駐車場をご利用ください。
- 学連の選手は、駐車場に隣接する幸手市B&G海洋センターの建物内のトイレを使用できますので、幸手総合公園内のトイレは使用しないでください。(少年サッカー大会の小学生が使用するため)また、同センターの建物内に更衣室を設ける予定です。
- 競技役員用駐車場はコース内にありますので、規制前の午前8:30以前に入庫するようお願い申し上げます。それ以降は一般駐車場をご利用ください。

